

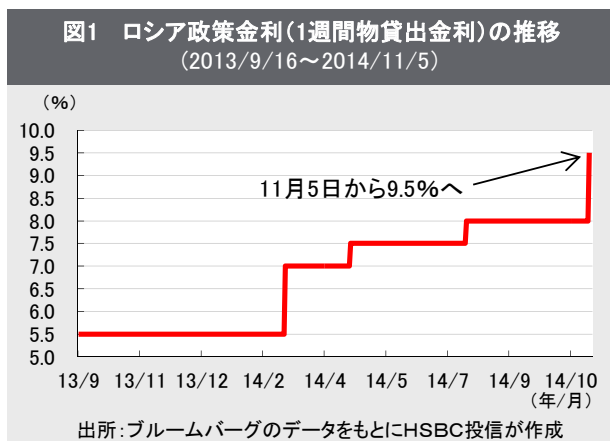
ロシア、政策金利を1.5%引き上げ9.5%に インフレ加速、通貨安進行の阻止が目的

HSBC投信株式会社
2014年11月4日

- ▶ ロシア中央銀行は、10月31日(金)、通貨安を背景としたインフレ率の上昇に歯止めをかけるため、政策金利の8.0%から9.5%への引き上げを決定。インフレ率低下の際は、金融緩和の可能性にも中央銀行は言及
- ▶ 当面、ロシア株式市場は、利上げ、高インフレ、原油価格の下落傾向などから、現行水準を中心としたレンジ内で推移するものと当社は考える

利上げの理由は「インフレ抑制」

- ▶ ロシア中央銀行(中央銀行)は10月31日(金)に金融政策決定会合を開催し、政策金利を8.0%から9.5%に大幅に引き上げ、実施を11月5日からとしました(図1参照)。

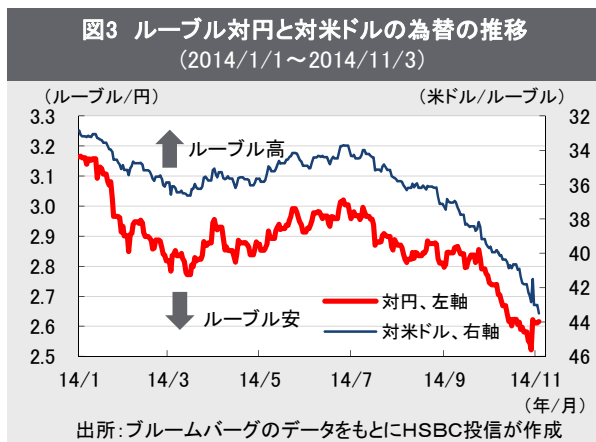
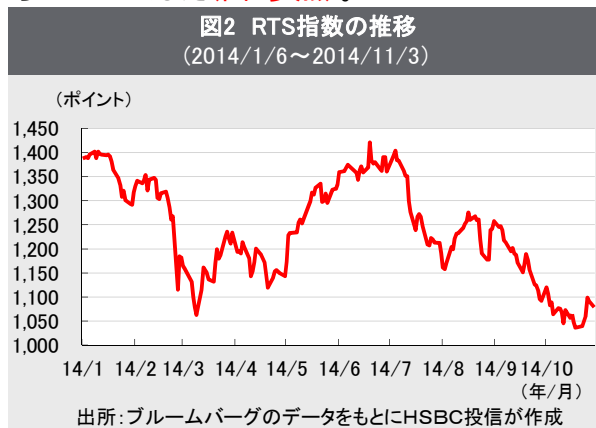


- ▶ ロシアではインフレが加速しており、9月の消費者物価指数(CPI)は約3年振りの高水準の前年同月比+8.0%でした。この背景には、①ウクライナ情勢を巡る米欧の対ロシア制裁の対抗措置としての米欧からの農産物や食品の輸入禁止を受けた、食料品価格の上昇、②ルーブル安進行を受けた輸入物価の値上がりが見られます。

将来的にインフレ率が低下すれば、金融緩和する可能性に中央銀行は言及

- ▶ 中央銀行は会合後の声明文で、インフレ率は2015年3月末までは現行水準にとどまる可能性が高いが、その後は緩やかに低下する見通しを示しました。その背景として、米欧の制裁に伴う悪影響を緩和する「国内の経済調整」を通じてルーブルが持ち直し、これがインフレ率の低下に繋がると指摘しました。さらに、中央銀行は、「インフレ期待の持続的な低下傾向が見られるようであれば、中央銀行は金融緩和を開始する用意がある」と述べました。
- ▶ 利上げ発表後のロシア株式市場は軟調となり、RTS指数の10月31日(金)および11月3日(月)の2日間の騰落率は-1.9%でした(図2参照)。

- ▶ 為替市場では、利上げは通貨高に至らず、通貨ルーブルの2日間の騰落率は対米ドルで-4.6%、対円では日銀の追加金融緩和による円安急進から-0.2%でした(図3参照)。



株式市場見通し: 当面、レンジ内で推移

- ▶ 今後のロシア株式市場の見通しについては、利上げ、高インフレ、原油価格の下落傾向などから、当面、現行水準を中心としたレンジ内で推移すると考えます。
- ▶ また、ロシアからウクライナへの天然ガス供給の再開への合意が10月末に両国間でなされるなど、両国間に緊張緩和の兆しが窺われますが、ウクライナ情勢については引き続き注視して行きます。

留意点

投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書(交付目論見書)」および「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認頂きご自身でご判断ください。

投資信託に係わる費用について

購入時に直接ご負担いただく費用	購入時手数料 上限3.78%(税込)
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保額 上限0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	運用管理費用(信託報酬) 上限年2.16%(税込)
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。「投資信託説明書(交付目論見書)」、「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」等でご確認ください。

※上記に記載のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

※費用の料率につきましては、HSBC投信株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託に係るリスクや費用はそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、かならず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号

加入協会 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会



ホームページ

www.assetmanagement.hsbc.com/jp



電話番号 03-3548-5690

(受付時間は営業日の午前9時~午後5時)

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、HSBC投信株式会社(以下、当社)が投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- 当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
- 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。